

## 令和2年度第1回総合教育会議 会議録（要旨）

- 1 日時 令和3年2月16日（火） 16:05～17:10
- 2 場所 白石町総合センター2階集団指導室
- 3 出席者 【構成員】

白石町長 田島健一  
教育長 北村喜久次  
教育長職務代理 稲佐英明  
教育委員 下田幸子  
教育委員 松尾博之  
教育委員 堤 王宏

### 【事務局】

企画財政課長 小池武敏  
企画財政課 課長補佐 谷崎孝則  
企画財政課 政策調整係長 久原美穂  
企画財政課 政策調整係 主事 田中良輔  
学校教育課長 出雲 誠  
主任指導主事 宮崎泰仁  
学校教育課 課長補佐 吉村 浩  
学校教育課 学校統合再編係長 原 修  
学校教育課 学校給食係長 永尾宗紹  
生涯学習課長 中村政文  
生涯学習課 課長補佐・生涯学習係長 渡部俊哉  
生涯学習課 課長補佐・生涯スポーツ係長 土井 一  
生涯学習課 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進係長 森永香代子

### 【傍聴者】 1名

- 4 会議次第
  - 1 開会
  - 2 町長挨拶
  - 3 議題
    - (1) 白石町教育大綱の改正について
    - (2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

(3) 学校再編等について

(4) その他

#### 4 閉会

《以下、議事録本文》

#### 1 開会

##### ○谷崎企画財政課長補佐

ただいまから令和2年度第1回総合教育会議を開催する。

最初に田島町長から挨拶をお願いする。

#### 2 町長挨拶

##### ○田島健一町長

皆さんこんにちは。本日は教育委員会終了後でお疲れのところ、令和2年度第1回白石町総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

教育委員会の皆様には日頃から本町の教育行政に関しまして並々ならぬご尽力を賜っております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本日はこの場で教育委員会の皆様と大きな視点で意見交換を行い、時には議論を行いながら教育行政のより一層の発展に繋がればと思っております。どうぞ最後までよろしく申し上げます。

##### ○谷崎企画財政課長補佐

通常、総合教育会議においては町長が議長を務めるという規定になっているが、昨年同様今回も意見交換ということにさせていただき、進行については事務局の企画財政課において努めさせていただくのでご了承をお願いする。

それでは、議題に入る。(1) 白石町教育大綱の改正について、企画財政課から説明をお願いする。

#### 3 議題

(1) 白石町教育大綱の改正について

##### ○久原政策調整係長

資料1の1ページ。白石町教育大綱については、平成26年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正がなされ、その中で地域住民の意向のより一層の反映と地方公共団体における教育、学術及び文化の振興に関する施

策の総合的な推進を図るため、地方公共団体の長に大綱の策定が義務付けられた。本町では白石町総合教育会議において協議・調整を行い平成28年3月に白石町教育大綱を策定している。大綱の実施期間は平成27年度から令和2年度までとし、社会情勢などの変化や各種計画等との整合を図るため状況に応じて随時見直すこととしている。

4ページ。「5、重点目標」は、基本方針をもとに9本の柱を重点目標にしてきたが、昨年度の総合教育会議において審議をいただき「(3)家庭・地域との連携協働による教育活動を支える環境の整備」と文言の変更、「(10)小中学校統合再編等に関する取り組み」を追加して、重点目標の柱を9本から10本に変更している。

3ページ。今回の変更は実施期間の変更。実施期間については第2次白石町総合計画との整合を図るため期間を合わせている。総合計画については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、第3次白石町総合計画の策定を1年間先送りすることとし、現行の第2次白石町総合計画の計画期間を延長することで、昨年の第6回白石町議会臨時議会において可決をいただき、計画期間を令和3年度までの7年間と変更している。については、白石町教育大綱の実施期間を1年間延長し令和3年度までの7年間と変更を考えている。

#### ○谷崎企画財政課長補佐

白石町教育大綱改正案について質問や意見はないか。

#### ○堤教育委員

昨年、重点目標に小中学校統合再編などに関する取り組みを追加された。先ほどの教育委員会において統合再編という言葉が「再編や新しい学校づくり」に変える話が出ていた。ここでも文言を変更するべきではないか。

#### ○吉村学校教育課長補佐

教育委員会で規則の改正を行うので改正ができ次第、10番目の重点目標を「小中学校再編に関する取組」とさせてもらいたい。

#### ○谷崎企画財政課長補佐

重点目標の10番目について「小中学校再編に関する取組」に変更すると事務局から提案する。委員の皆様方よろしいでしょうか。

#### ○一同

はい。

### ○北村教育長

お諮りをしたいが、3ページの基本方針に「心身ともに健康な白石町民を育成する。」の部分に「たくましい」を追加して「健康でたくましい」とするのはどうか。

例えば不登校や引きこもり問題などの社会問題が当たり前のようになっている。本町も頑張ってはいるが厳しい状況である。自分の身に起こる様々な課題をどう乗り越えていくかについては、もっと小さい時から周りから教えて行かないといけない。自分の力だけでは難しい問題も他の人の力を借りて乗り越えていくという姿勢は意識をしておかないといけない。そこで「たくましい」という文言を入れたい。健康という言葉の中にもたくましいというニュアンスが入っているかもしれないがいかがでしょうか。

### ○谷崎企画財政課長補佐

意見がないようであれば基本方針の下から2行目の部分を「健康でたくましい白石町民を育成する。」と変更する。

他に意見はないか。

### ○北村教育長

重点目標の(1)について「確かな学力の育成と時代のニーズに対応した教育の推進」となっているが、時代のニーズには現在国が進めているGIGAスクール構想のことや個別最適な学び等が入ってくると思う。「時代のニーズ」という表現もいいが「多様性」という言葉を入れたい。言葉のつながりから「多様なニーズに対応した」とするのか「時代のニーズに対応した多様な教育の推進」とするのか議論は必要と思うが、「多様性」という言葉を盛り込んでほしいがいかがでしょうか。

### ○堤教育委員

令和の日本型学校教育における「個別最適な学び」と「協働的な学び」という概念があるが一步間違えると相反する。個別最適化を進める中で協働の部分がおろそかになると困るので2つを並行して実現していく考え方がある。その考え方も含めて「多様性」と表現するのか。

### ○北村教育長

個別最適化も協働もインクルーシブにというような意味も含めて「多様性」と表現したい。

○堤教育委員

「多様性」という言葉に個別に最適化するという意味とインクルーシブに協働するという意味合いが含まれていれば良いが。

○松尾教育委員

ひっくり返した形で「多様性」と表現して良いのでは。「時代の」の部分で「多様な」という文言に変更してよいのでは。

○下田教育委員

「ニーズ」という言葉につながっていくが、この「ニーズ」にはどのような意味があるのか。

○北村教育長

「時代のニーズ」でも表現はできている。ICT利活用の推進や今後のAIの発達により子どもたちが大きくなるころの職業がほとんど自動化されている。そのためには知識・理解の偏重ではだめ。活用力が大切だということが「時代のニーズに対応した教育の推進」と表現されている。様々なことを今まで以上に多様に対応していかななくてはならないということ。

○谷崎企画財政課長補佐

「確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進」と改正をする。

○稲佐教育委員

(8)「郷土文化の保存伝承と芸術文化の振興」のところでは郷土文化の後に「・歴史」と入れてみてはどうか、芸術文化や浮立等は受け継がれてきた歴史が背景にある。

○谷崎企画財政課長補佐

稲佐委員の提案に意見や質問はないか。なければ「郷土文化・歴史の保存伝承と芸術文化の振興」と改正をする。

この場で提案をいただいた4つの文言の追加や修正と実施期間の延長の改正を行う。

次の議題に入る。生涯学習課より説明をお願いします。

## (2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

### ○森永国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進係長

資料説明の前に、2024年（令和6年）に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が佐賀で開催される。「国民スポーツ大会」だが「国民体育大会」という名称で慣れ親しんできたが佐賀大会より「国民スポーツ大会」と名称が変更される。

2ページ目。大会の概要については後以って目をお通しください。

3ページ目。白石町実施決定競技の説明をする。国民スポーツ大会の競技においてはソフトボール成年男子が白石町の総合運動場で開催される。デモンストレーションスポーツ大会は、ソフトバレーボールが佐賀県民を対象として開催予定。会場は白石社会体育館と公立の中学校の体育館を使用する。全国障害者スポーツ大会については、グランドソフトボールで視覚障害者の方が対象となっている。会場については白石町の総合運動場で開催される。

4ページ目。国民スポーツ大会の競技会場についてとなっている。赤丸で囲んでいるところがソフトボール開催地。6市町で協議を行い、内容等の調整を行っている。

5ページ目。全国障害者スポーツ大会の会場となっている。こちらは11市町14競技が開催される予定となっている。

6ページ目。国民スポーツデモンストレーションスポーツ大会の実施競技及び会場について記載をしている。白石町はソフトバレーボールが開催される。この大会は国民体育大会の運気を上昇させるという意味で開催をされる。国民スポーツ大会の開催の年の4月1日から国民スポーツ大会の開催前までに実施することになっている。

今後の計画について口頭で説明をする。令和2年度に実行委員会の設立に向けて準備をしている。令和3年2月22日「SAGA2024国スポ・全障スポ白石町実行委員会設立発起人会」を予定している。また、令和3年3月19日19時から「SAGA2024国スポ・全障スポ白石町実行委員会設立総会」を計画している。

新型コロナウイルスの影響もあり手探りの状態での事業ではあるが、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の両大会を成功に導くために開催準備ならびに運営に取り組んで参りたいと思っている。委員の皆様にはご理解ご協力よろしく願います。

### ○谷崎企画財政課長補佐

質問や意見はないか。

### ○堤教育委員

全国障害者スポーツ大会は平成25年まで厚生労働省の管轄で主催をされていた。スポーツ庁ができた時に文部科学省に移管され一元化された。そういう経緯もあり生涯学習課において担当をされていると思う。障害者の生涯スポーツを福祉ではなく生涯学習と同じように扱う流れだと思う。全国障害者スポーツ大会が県内の20市町のうち11市町での開催となっている。せっかく白石町で開催をされるのでインクルーシブにやっていって欲しい。良い機会なので町民の皆さんに浸透させるような仕掛けや内容を実行委員会の中でも考えていただきたい。

### ○中村生涯学習課長

県と連携して取り組んでいきたい。

### ○稲佐教育委員

今ではマスコミ等でも「スポーツ」という言葉は浸透してきていると思うが、昔は国民体育大会等のように「体育」と呼んでいた。いつから「スポーツ」という名称になったのか。

### ○土井生涯学習課長補佐

現在は国民体育大会という名称で行われている。この佐賀大会から国民スポーツ大会と名称が変更される。スポーツ基本法の改正に伴って佐賀大会から名称が変わることになる。

### ○谷崎企画財政課長補佐

他に意見や質問はないか。なければ次の議題に入る。学校教育課より説明をお願いします。

## (3) 学校再編等について

### ○原学校統合再編係長

学校統合再編案については何度か説明をしているので内容について今回は省略する。

まず、資料3-1開校準備の想定スケジュールについて。この資料については審議会の資料や庁議の資料、議員説明会の資料で出したもの。まず新設中学校だが令和2年度においてソフト面ハード面において記載をしている事業を行っている。特に再編計画案については住民説明会やパブリックコメントを経て先日修正案について町議会に説明を行った。3月の庁議に提案をしてそこで承認を

いただき計画策定となる。来年度にハード面においては基本実施設計を行い、令和4年度と令和5年度で増築及び改修工事を行う予定。ソフト面では新しい学校づくり準備委員会の設置を行い、開校までの具体的な協議を行っていく。そして令和6年度に開校。中学校についてはこのスケジュールどおりに進んでいる。

小学校の数については答申では2校となっている。有明3小学校を1校、白石4小学校と福富小学校を再編して1校にする答申をいただいている。小学校の再編計画案は今後策定していくことになったので、この想定スケジュール通りには進んでいない。今年度小学校の再編計画案は策定していない。小学校についても審議会の答申を尊重することとしている。ただコロナウイルス感染症の影響により人口減少が今の見通しよりさらに進んでいく、将来人口がなかなか見通せない状態である。昨年度の国勢調査の値により、国立社会保障・人口問題研究所の数値が更新されると思うので参考にしながら進めていく必要がある。

次に、資料3-2。この資料は中学校統合再編案の最後に付けている参考資料。下の表になるが、令和9年度の児童数の1年生の数を119人としているが、令和9年度の1年生の数が分からないので、令和8年度の1年生の数を据え置いて記載をしている。今年度生まれてくる子供の数ということになるがある程度は見えてきている。参考までに最後の資料に令和2年4月から令和3年1月の出生者数を記載している。白石地域で37人、福富地域で22人、有明地域で26人の合計85人となっている。あと2か月あり転出入で増減があると思うが、予想より低くなることを想定している。複式学級の現実味が出てきた。さらに次年度はコロナの影響により出生数が少なくなると言われている。今後小学校の開校準備を進めていくにあたり、この人口減少のスピードは非常に悩ましいところである。

### ○永尾学校給食係長

白石町学校給食調理場統合再編について資料3-3で説明を行う。白石町の町立学校の統合再編に伴い給食調理場の統合再編が必要になる。計画の概要案をつけている。現状の調理場についてはセンターが1箇所、自校式が5箇所の計6調理場で給食の提供をしている。資料の真ん中辺りになるが、統合再編の具体的な方策については計画案の中で、調理場の方式については共同調理場方式（センター方式）で計画をしている。給食開始予定については中学校の開校に合わせて令和6年4月を予定している。建設場所は現在の給食センターの南側の社会体育館の第2駐車場の位置に予定をしている。受配校については町内全ての小中学校である。対応食については1日当たり2000食対応の調理場の建設を予定している。



今後のスケジュールについては令和3年度に基本実施設計を行い、令和4年度と5年度において建設工事、給食開始を令和6年4月と予定している。

○谷崎企画財政課長補佐

3つの資料についての説明が終わった。意見や質問はないか。

○堤教育委員

新しく学校が出来るときは設置条例が必要と思うが、条例ができるタイミングはいつか。

○原学校統合再編係長

新設中学校の話をする、来年度に新しい学校づくり準備委員会を設置して最初に学校名の検討に入る。事務局で考えているのは検討を行った後に最短で今年12月の議会、できなければ来年3月の議会と考えている。

○堤教育委員

そのスケジュールであれば条例ができる前に準備委員会を立ち上げることで、最終的に小学校数が2校と明確に決まっていなかった状態になる。言い方が悪いが準備委員会は見切り発車のような状態になってしまう。

○原学校統合再編係長

先日議員説明会で説明をしたが、施設整備案や学校づくり準備委員会の謝金等の予算も令和3年度の当初予算から入れているので、その辺りで理解をいただけたらと思う。ただ、委員おっしゃられるとおり完全に決まった状態でのスタートではない。

○稲佐教育委員

先ほどの話と関連するかもしれないが、令和3年度から準備委員会が発足されるわけだが人選は事務局の方で進んでいるのか。答申をいただいた審議会のメンバーとは変わるのか。

○原学校統合再編係長

課内協議の中で人選については大方案として決まっている。もちろん地域住民や保護者の参画も必要となってくるので、小中学校を通した形で推薦をもらうことにしたい。今月中には小中学校を回らせていただいて推薦をお願いしに行けたらと考えている。審議会のメンバーが準備委員になる訳ではない。

### ○堤教育委員

出生数の表を見せていただいて予想以上に厳しい数字になっている。おそらく今後もこの数字で推移していく。教育委員会から審議会に諮問をして答申をいただいているわけだが、その中の議論を議事録などで拝見したが非常に濃厚な話し合いをされて答申を頂いているので尊重していく必要がある。議論してあったのは、子供達の学習環境をしっかりと守ることが非常に大事ということ。素案の中に出てきた小学校数を2校にする話は有明地域と福富地域はそれぞれ適正規模を下回るが、1校にまとめると適正規模を上回ってしまうという議論がなされていた。

しかし、この出生数であれば児童数が全体で600人ほどであれば適正規模でないかという話になってくる。答申案の基本的なデータが1学年150人。全体で900人の推定だったので、2年経ってはっきり数字が出てくると審議会の中で何が大事か話されたことを参考にしながら考えていくことが大事になってくる。話し合われた内容は限られた情報の中で濃厚な話し合いをして頂いているので、そこをしっかりと拾い上げて計画を立てなければと思う。

### ○北村教育長

私もこの出生数のデータを見て話をするが、審議会では審議のもとになるデータがあってそれに基づいて慎重に審議をしていただいたが、元になるデータが変わってきている。審議会の答申に固執する必要はないが、データが変わってきたところについては慎重に検討するような柔軟性が必要ではないか。

### ○田島町長

小学校数については2校が望ましいという答申は柔軟な対応が必要となってくる。スケジュールを見た時に中学校も小学校も開校の3年前に新しい学校づくり準備委員会が立ち上げられるようになっている。しかしながら、白石・福富地域新設小学校のスケジュールについては、新しい学校づくり準備委員会ができる前から用地取得や基本設計や実施設計が入ってくるのは新設中学校の考え方からすると違和感がある。このスケジュールについては子供たちの数がどうなっていくかを早く見極めて、早い時点で検討をしていくべきではないか。

### ○下田教育委員

中学校については再編に関する説明会があったが、小学校を再編する説明はあっていない。令和3年度に用地取得とスケジュールではなっているが、同じ年度に小学校の編成等の説明会はされるのか。

### ○出雲学校教育課長

中学校については基本計画を作って柱となる学校の位置や開校年度等を決めている。小学校についても基本計画を作ってその中に学校の位置等を載せていくことになっていく。もし答申通りに進めるとしたら、事務的な事を考えると

用地取得が少なくとも令和3年度にないと令和10年度の開校は難しいというタイムスケジュールを載せていると考えていただきたい。このスケジュール通りに進めるというわけではなく、令和10年度開校を目指すのであれば記載しているスケジュールでないと間に合わないということでご覧頂きたい。

#### ○原学校統合再編係長

補足説明をする。この資料は審議会の中で使っている資料で、小学校も中学校も再編計画を令和2年度中に作成する予定で進めていたのでこのスケジュールになっているが、中学校の方が喫緊の課題ということで中学校の再編計画を先に作成し説明会を行っており、小学校の計画はまだ作られていない。計画を作成するとなれば令和4年度あたりになると思うので、このスケジュール通りに進めるのは今の段階では厳しいと考えている。

#### ○下田教育委員

中学校再編の説明会に参加して話を聞いていたら、小学校の再編は大変という印象を受けました。時間をかけて皆さんに説明をして理解をしていただく必要がある。

#### ○田島町長

下田委員さんがおっしゃられた通り、この事業は子供たちがメインであり保護者や地域住民の理解が必要になってくる。しかし、令和10年開校については出雲学校教育課長の説明で令和3年度から進めていかないと間に合わないということだが、地元の説明や子供たちのことをしっかり考えた上で進める必要がある。開校期間の先送りもあるかもしれない。まず学校をどうするのか早めの議論が必要になってくる。コロナの影響で先が見通せないのもあるが、なるべく早く決定をしていかないと令和10年開校が厳しくなってくる。

#### ○松尾教育委員

先日行われた町議会選挙でも答申への反対をうたっている候補者も相当数いた。ある程度内容を詰めていかないといけない。

#### ○谷崎企画財政課長補佐

他にございませんか。

#### ○松尾教育委員

今年度の出生数ですが2月、3月の出生数は例年だとどれくらいなのか。

○吉村学校教育課長補佐

具体的な資料はない。年によってばらつきはあると思うが今までの平均的な数字になるのではないかと考える。

○堤教育委員

コロナが影響するのは来年度の出生数になってくるのでは。

○田島町長

この資料はコロナの影響を受ける前に妊娠され出産されるデータなので、あと1年分のデータは必要になってくるのではないか。

(4) その他

○谷崎企画財政課長補佐

他に意見がなければ(4) その他の議題に入る。事務局からはありませんが委員の皆様から何かございませんか。

○下田教育委員

子供の小さな良いところを認めることができない先生が学校の先生の中にいる。先生の中にもいろんな先生がいらっしゃいます。やはり子供達の自己肯定感褒めること。褒めることとは認めてやること。そういう能力を持った先生の育成・研修をしていただきたい。特別支援の子供もこれだけ増えてきており、一般の教育の知識だけでは対応できない場面が増えてきている。様々な場面に対応できる能力を持った先生の育成をぜひ宜しくお願いする。

○北村教育長

ありがとうございます。教育に関わるものとして当然資質として持つておかないといけないものだが、現実は今お話いただいた状況。子供達の自己肯定感という話があったが、今日の教育委員会での白石のおおどぼう達をみんなで育てようという話も基本は自己肯定感。やはり悪いところを見ってしまうことがあると思うが、良いところを探すと自然と悪いところも改善されると思う。非常に胸に響きました。基本的なこととして研修の充実や子供との関わり方については引き続き努めてまいりたい。

○谷崎企画財政課長補佐

他にありませんか。

○堤教育委員

私は白石高校の地域とつながる魅力ある高校づくりプロジェクトに特別委員として関わらせてもらっている。1月の会議で総合戦略課から町内にある白石高校と佐賀農業高校にアンケート調査をされている。700人以上の生徒を対象にされそのうち130人が町内から通っており、残りの生徒は町外から通っている。町内の生徒たちは白石町のことが好きかという設問に対して「好き」が1/3、「どちらかといえば好き」が1/3、「どちらともいえない」が1/3。町外から来ている子達の回答の60%が「どちらともいえない」と回答している。「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」が8%いて、合わせると2/3の生徒が「どちらともいえない」や「どちらかといえば嫌い」「嫌い」を選択している。そういった結果が若い人たちが白石町に残らない理由になっているのかもしれない。電車を降りて学校との行き帰りだけなので町の魅力を知ることもなかなか無いと思うが、逆に言うと白石町外から白石町に通ってきている子供たちのそういった回答を数値目標にできるのでアンケートは良かったのではないかと思う。3年後にはそういった回答を1/3まで減らして町内の子達と同じような考えにするために、町の方でもいろんなアイデアを絞っていただきたい。

○谷崎企画財政課長補佐

他にないようなので本日の令和2年度第1回総合教育会議は以上で閉会する。教育委員会に引き続きご協力いただきありがとうございました。